

展覧会スケジュール

2023.03 → 2024.06

展覧会スケジュール

※詳細はWEBサイトでご確認ください。

2023

3月21日(火・祝)～6月11日(日)

共催展

ポケモン×工芸展 ー美とわざの大発見ー

ポケモンと工芸、正面切って出会わせたらどんな化学反応が起きるだろう。この問い合わせに人間国宝から若手まで20名のアーティストが本気で挑んでくれました。会場で皆さんを待ち構える作品たちとの出会いははたして…ワクワク、うっとり、ニヤニヤ、それともゾクッ?かけ算パワーで増幅した美とわざの大発見をお楽しみください。



吉田泰一郎《サンダース》2022年

個人蔵

©2023 Pokémon.

©1995-2023 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK Inc.

Photo : Taku Saiki

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

2024

1

2

3

4

5

6

7月7日(金)～9月24日(日)**水のいろ、水のかたち展**

「水」をテーマに、工芸・デザイン作品に表現された水や水をいれる器に注目してご紹介する展覧会。水は多くの作家に着想を与え、様々な色や形、技で表現されてきました。蒔絵で描かれた波紋や、急流を感じさせる竹の編み方、鮮やかに染めた水辺の景色など、どちらどころのないものだからこそ作家の觀察眼や個性が表れる作品をお楽しみください。



深見陶治《初めての航海》1975年

国立工芸館蔵

Photo : Tomoya Nomura

特別展

10月14日(土)～11月26日(日)

第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭 いしかわ百万石文化祭2023

国立工芸館・石川県立美術館 共同開催

三の丸尚蔵館名品展(仮称)

皇室に伝わる美術品類は、上皇陛下および香淳皇后により平成元年に國に寄贈され、宮内庁三の丸尚蔵館で保存、展示公開されてきました。本展では同館収蔵品から、時代を代表する作品や石川ゆかりの工芸品を選びすり紹介します。隣接の石川県立美術館では絵画や書跡作品を中心に展示し、2館で1つの展覧会として開催します。



海野勝珉《太平楽置物》1899年

宮内庁三の丸尚蔵館蔵

特別展

12月19日(火)～3月3日(日)**印刷／版画／グラフィックデザインの断層****1957-1979**

マス・コミュニケーション時代が到来した戦後の日本では、印刷技術が飛躍的に発展し、版画とデザインの関係性がとりわけ議論の対象になりました。

本展では、1957年から1979年まで全11回にわたって開催された「東京国際版画ビエンナーレ展」に焦点をあて、版画とグラフィックデザインが交錯した時代の様相を紹介します。



横尾忠則

《第6回東京国際版画ビエンナーレ展》1968年

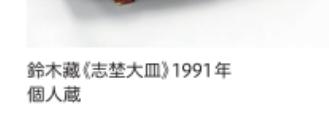
東京国立近代美術館蔵

特別展

3月19日(火)～6月2日(日)**卒寿記念 人間国宝 鈴木藏展(仮称)**

共催展

重要無形文化財「志野」の保持者(人間国宝)、鈴木藏(1934年生まれ)の作陶の軌跡と“今”を紹介します。鈴木は、薪窯でしか焼けないとされていた「志野」にガス窯で挑戦し、伝統を大切にしながらも独自のスタイルを確立してきました。2024年に卒寿を迎えるのを機に、初期から最新作までの優品を通して、その神髄に触れていただきます。



鈴木藏《志野大皿》1991年

個人蔵